

## 日本感情心理学会第 32 回大会 大会発表賞 選考過程

学術プログラム委員会委員長 木村健太

日本感情心理学会第 32 回大会（2024 年 5 月 31 日—6 月 2 日）では 55 件の研究発表（口頭・ポスター発表）が行われました。そのうち、23 件が大会発表賞の審査対象になることを希望し、日本感情心理学会優秀大会発表賞選考委員会による審査を行いました。

大会発表賞選考規程に基づき、学術プログラム委員会委員長を中心に日本感情心理学会優秀大会発表賞選考委員会を組織した上で、第一次選考と第二次選考に分けて選考を行いました。

第一次選考では、事前に提出された発表抄録に基づいて、審査対象者（第一著者）が審査員となり 31 歳以上と 30 歳以下の研究発表それぞれについて上位 2 つの研究発表へ投票し、最終候補演題を絞りました。

第二次選考では、最終候補演題に対して 6 名の審査員が可能な限り現地での発表を聞いて 5 つの軸（新規性、技術性等）で評価を行いました。

まず、第一次選考は以下のような形になりました。

- ・ 31 歳以上の発表賞へのエントリー数が 13 件。得票数が上位の 3 演題を第二次選考対象として選定。
- ・ 30 歳以下の発表賞へのエントリー数が 10 件。得票数が上位の 3 演題を第二次選考対象として選定。
- ・ 合計 6 演題を第二次選考の対象とした。

続く第二次選考では、1) 新規性評価、2) 方法の評価、3) 学術的・社会的貢献度の評価、4) 発表力評価、5) 総合性評価について、6 名の第二次選考委員が可能な限り現地での発表を聞いた上で 5 段階による評価を行いました。

第二次選考委員の評価に基づき、学術プログラム委員会を中心に優秀発表賞（2 件）、若手優秀発表賞（2 件）を選定しました。

以上